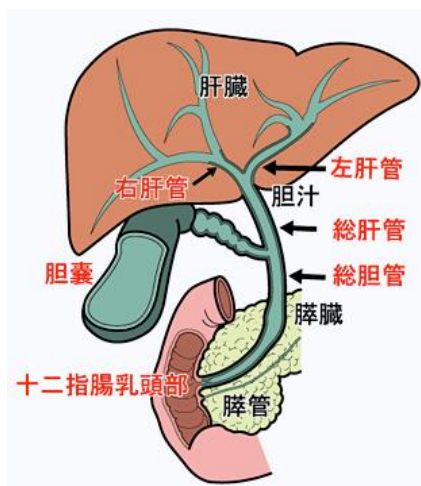
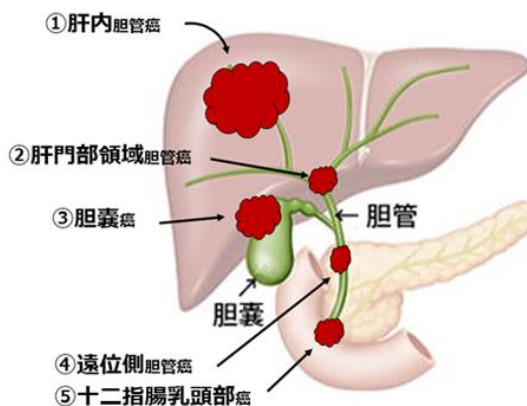


## 当院の胆道がん手術について

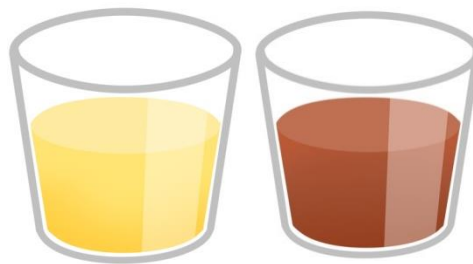
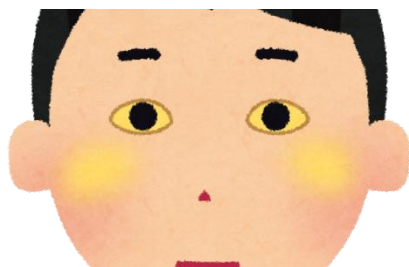
胆道は肝臓と腸をつないでおり、肝臓で作られる胆汁（たんじゅう）を十二指腸まで運んでいます。胆道がんには肝内胆管がん、肝門部領域胆管がん、遠位胆管がん、胆のうがん、十二指腸乳頭部がんが含まれます。



胆道癌の部位と名称



胆道がんの初期症状は黄疸（おうだん）です。胆管が閉塞すると、胆汁の成分が血液に流れ込みます。このため目や皮膚が黄色くなり、尿がコーラのような色になります。このような症状がある場合には早めに受診してください。



また、健康診断の腹部エコー検査で胆管や胆のうの精密検査が必要と言われた方は必ず受診してください。胆道がんの早期発見につながる可能性があります。



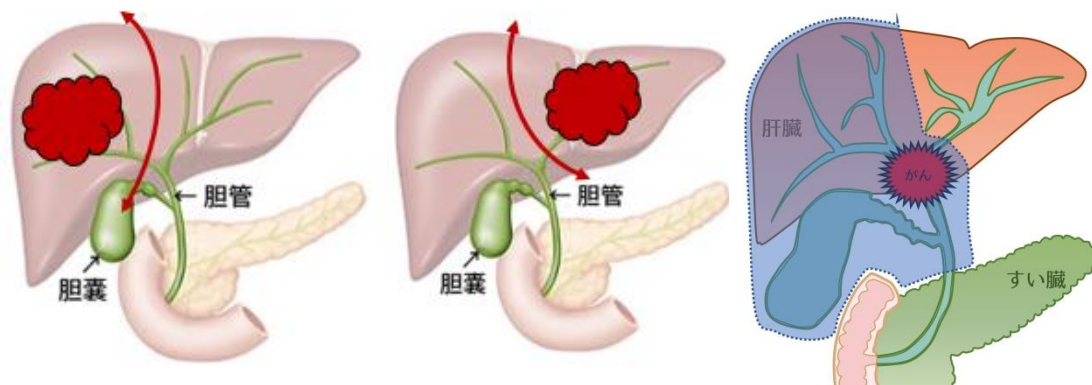
胆のうがん

胆管がん

胆道がんの治療は、「根治切除が可能な場合には手術で切除する」ことです。がんの位置により、肝臓や膵臓の一部も切除が必要です。また、周囲のリンパ節の切除も行います。複雑な手術が多いため開腹手術で行うことが多いです。

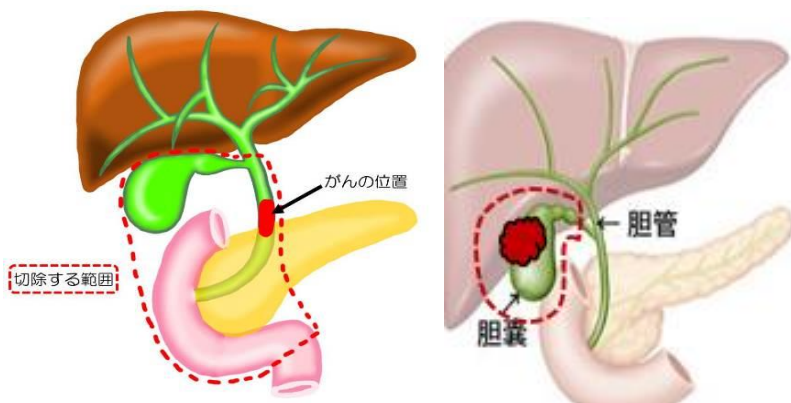
肝内胆管がんの手術

肝門部領域胆管がんの手術



遠位胆管がんの手術

胆のうがんの手術



がんの大きさや転移の状況によっては根治切除ができないこともあり、その場合は抗がん剤治療を行います。抗がん剤は外来治療で行います。